

発電機の屋内使用は大変危険です!

ガソリンを燃料とする発電機は、地震や台風などの災害時の停電対応やアウトドアでは大変便利ですが、屋内や風通しの良くない場所で使用すると一酸化炭素(CO)中毒を起こし、死亡事故につながる危険があります。

令和3年1月には能代市において、停電中に屋内で発電機を使用したため、排ガスにより一酸化炭素中毒で死亡するという事故が発生しました。

このような事故を未然に防ぐため、発電機を使用する際の置き場所や取り扱い方法を今一度確認しましょう。



事故事例

- 停電中の店舗内で小型発電機を使用し、従業員が一酸化炭素中毒により受傷した。(長崎県 令和2年)
- 地震による停電時に屋内で小型発電機を使用し、一酸化炭素中毒により3名が死亡した。(北海道 平成30年)
- 物置小屋で携帯型発電機を使用し、一酸化炭素中毒により1名が死亡した。(北海道 平成30年)

事故を防ぐポイント

- 屋内の排気ガスがこもる場所では使用しない!
- 屋外でも換気の悪い場所では使用しない!
- 発電機は水平に設置する!
- 火気厳禁!
- 運転する前には必ず点検を!

問い合わせ 能代山本広域消防本部 ☎52-3311